

神奈川を支え続ける相模ダム



現在の相模ダム



竣工当時の相模ダム

相模ダムの沿革

相模ダムは、昭和13（1938）年に事業決定された相模川河水統制事業の基幹施設として、戦中・戦後の激動の時代を乗り越え、地域の人々の理解と協力のもと、昭和22（1947）年6月に完成しました。

この事業は、県が全国に先駆けて行った広域的な水資源開発事業として、京浜工業地帯の工業の進展や、人口増加に対応する電力や水道用水、工業用水の供給を目的としていました。

現在は、同じ相模川水系の城山ダム、宮ヶ瀬ダムと総合運用を行うとともに、

三保ダムのある酒匂川水系とも連携し「かながわの水がめ」として水の安定供給に貢献しています。

また、完成から80年近く経過した相模ダムを将来にわたり健全に保つため、現在、相模ダムリニューアル事業を行っています。



リニューアル後のイメージ



かながわ「昭和100年」

つながる心、ともに未来へ